

【編集後記】「新しい防災気象情報」

「大雨警報」や「洪水注意報」などの気象や防災の情報が今年5月下旬から大きく変わることとなった。これまでの警報・注意報は、例えば「大雨警報」の中に「浸水」に対する警戒と「土砂災害」のそれとの2種類が混在している、とか、どの情報がどの程度の危険を示し、発令時にどんな行動をとればよいのかわかりにくい、などの点が指摘されていた。新しい制度は、災害を「河川氾濫」、「大雨」、「土砂災害」、「高潮」の4つに区分したうえで、危険度や取るべき避難行動に応じて5段階の警戒レベルを設定し、その名称も「特別警報」、「危険警報」（新設）、「警報」、「注意報」、「早期注意情報」に統一することとされた。これにより自治体が出す避難情報との関連性がより明確になり、住民が災害時に取るべき避難行動も直感的にわかるようになる、という。効果のほどは実際の運用が始まってみないとわからないが、国民や防災関係者に十分に説明し周知することが肝要である。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2026年2月号（通巻66号）

- 発行日 令和8年2月15日
- 発行所 一般財団法人日本防火・防災協会
- 編集発行人 高尾 和彦
- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号（日本消防会館内）
TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851
URL <https://www.n-bouka.or.jp>
- 編集協力 近代消防社